

どのような未来を目指すための事業か

災害時にも機能する強靱な道路ネットワークを構築するため

道路を拡幅し、カーブをゆるくします

地元の声

- ・災害時における安全な通行を確保してほしい。(地元住民)
- ・道幅が狭く、急勾配・急カーブで特に冬期は凍結しやすく危険。(地元住民)

事業の概要

- 事業個所: 東吾妻町植栗 ~ 中之条町伊勢町
- 事業内容: 現道拡幅 延長 1.7km、幅員 13.0m
- 事業期間: 平成25年度~

- 現在の交通量: 5,055台/日(自動車) (令和3年度) : 13人/12時間(歩行者) : 27台/12時間(自転車)
- 計画交通量 : 8,400台/日(自動車) (令和22年度)

事業前

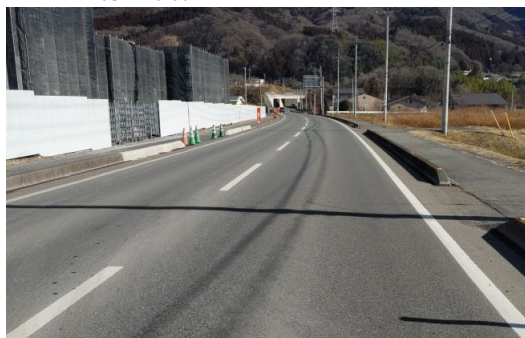
◆道路幅が狭く、急勾配・急カーブ区間があり、安全な通行に支障があります。



事業前の状況

事業後

◆車道の拡幅、急勾配・急カーブ区間の解消に安全な通行が確保されます。



事業後のイメージ



事業の進捗状況(令和8年3月末現在)



- ・令和8年度は、1期工区の道路改良工事、電線共同溝工事及び渋川東吾妻線大泉寺橋の架替を行います。
- ・2期工区は、用地取得及び埋蔵文化財調査、道路改良工事、電線共同溝工事を行います。



成果を示す項目	実施前
車両同士のすれ違い	困難(幅員4.5m)
急カーブ数	2箇所

実施後(目標)
すれ違いが容易に(幅員6.5m)
0箇所